

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎市本村有料老人ホーム	階数	地上4F
建設地	茅ヶ崎市本村4丁目1637-1他	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用、第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	107人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年5月1日
敷地面積	1,320㎡	作成者	㈱DAN総合設計
建築面積	701㎡	確認日	
延床面積	2,449㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記②以外のオンサイト手法 86%
④上記+オフサイト手法 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	潜熱回収型給湯器、LED照明を採用することにより、設備システムの高効率化に努めた。	その他 特になし
Q1 室内環境	内装材料のほぼ全面にF☆☆☆☆を採用し、十分な換気量を確保するなど、室内環境の向上に努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地や屋上緑化を設けることにより、良好な景観を形成した。
LR1 エネルギー	断熱材を強化し、建物の熱負荷抑制に考慮した。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場、駐輪場、管理用駐車場を設けることにより、交通負荷の抑制に努めた。
Q2 サービス性能	耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	自動水栓、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される